

登録コード	TAA10000	開講年度	2026			
授業科目	先鋭融合ゼミナール				担当教員	松中 大介 他
英文授業名	Advanced Interdisciplinary Seminar				副担当	千田 有一・太子 敏則・河村 隆
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生
講義室	共通教育 6 4 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Tカリ					
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	工学の専門教育を受けるために必要な基礎知識、技術者として備えていなければならない倫理観などの基礎能力の習得を目的とします。
	【26T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				⇔	融合研究に関するグループ討論や教員と一对一の相談などを通して、エンジニアとして必要な幅広い視点、論理的思考力、課題設定力、表現力などを身に付けます。
	【26T～】様々な課題を見つけ、基幹となる専門的学力を基礎として取り組む力、複数の専門分野を融合して取り組む力が身についている。				⇔	工学における各専門分野の学問内容や研究事例を学び、複数分野の融合によって解決するべき課題を見出す能力を涵養します。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	まず、大学での学び方、メールの送り方やレポートの書き方などの導入教育を行う。次に、工学分野に関する講義や各基幹コースのゼミナール参加などを通して各専門分野の学問内容や研究事例を学ぶ。グループ討論や教員と一对一の相談などを通して融合的な研究課題について探究し、メジャー・サブメジャーの選択に役立てる。					
(5)授業計画	第1回 (4/15) 大学の学びのための導入教育、各種ガイダンスの紹介 第2回 (4/22) 融合研究グループディスカッション 第3回 (4/30) 図書館利用ガイダンス 第4回 (5/13) チューター教員との個別相談 第5回 (5/20) 工学序論講義：応用化学,環境・エネルギー材料,水環境・土木 第6回 (5/27) 工学序論講義：電気電子,機械物理,知能機械 第7回 (6/3) 工学序論講義：建築,情報サイエンス,情報デザイン 第8回 (6/10) 合同ゼミナールの説明、グローバルガイダンス 第9回 (6/17) 合同ゼミナール：機械物理,知能機械 第10回 (6/24) 合同ゼミナール：応用化学,環境・エネルギー材料 第11回 (7/1) 合同ゼミナール：水環境・土木 第12回 (7/8) 合同ゼミナール：電気電子 第13回 (7/15) 合同ゼミナール：建築 第14回 (7/22) 合同ゼミナール：情報サイエンス,情報デザイン 第15回 (7/29) チューター教員との個別相談、授業アンケート ※第9回～第14回の合同ゼミナールは教室が異なります。第8回にアナウンスします。					
(6)成績評価の方法	レポート課題（70点）と議論の積極性（30点）で評価します。					
(7)成績評価の基準	工学の各専門分野に対する理解度や関心の高さが十分か、融合研究を考える際の論理性や独創性があるか、意見の表現力や議論での質問力があるかについて、教員を感心させるレベルであれば『卓越している』，全てを満たしていれば『かなり上にある』，2つまでを満たしていれば『やや上にある』，いずれかを満たしていれば『その水準にある』。					
(8)事前事後学習の内容	事前に次の授業内容について把握しておくこと。 授業後には、内容を振り返り、図書館やインターネットなどでさらに調べ、理解を深めるように努めること。					
(9)履修上の注意	eALPSを利用して授業に関する情報提供やレポート提出などを行います。eALPSの使い方を早めに習得しておくこと。 第1回ではノートPCあるいはメール送信が可能なデバイスを持参すること。					
(10)質問,相談への対応	質問や相談は授業終了後やメールで随時受け付けます。担当教員のメールアドレスはeALPSに掲載します。					
(11)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					